

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

This Page Blank (uspto)

© EPODOC / EPO

PN - JP11127469 A 19990511
 PD - 1999-05-11
 PR - JP19970289325 19971022
 OPD- 1997-10-22
 TI - MOBILE COMMUNICATION SYSTEM AND COMMUNICATION METHOD FOR THE SAME AND
 STORAGE MEDIUM FOR RECORDING CONTROL PROGRAM FOR THE SAME
 IN - FUJITA TOSHIKI
 PA - NIPPON ELECTRIC CO
 IC - H04Q7/22 ; H04M1/02 ; H04Q7/28

© WPI / DERWENT

TI - Call regulation system for mobile communication system - has base station provided with regulation unit which regulates call received from mobile station corresponding to received **high speed** movement notification
 PR - JP19970289325 19971022
 PN - JP11127469 A 19990511 DW199929 H04Q7/22 008pp
 PA - (NIDE) NEC CORP
 IC - H04M1/02 ; H04Q7/22 ; H04Q7/28
 AB - JP11127469 NOVELTY - A mobile station (1) has a notice unit which outputs **high speed** movement notification to a base station (2) when detected that result of a counter exceeds a threshold value. The base station has a regulation unit to regulate call received from the mobile station corresponding to received **high speed** movement notification. DETAILED DESCRIPTION - INDEPENDENT CLAIMS are also included for the following: mobile communication method; recording medium which records mobile communication control program
 - USE - For mobile communication system in electric train, bus.
 - ADVANTAGE - Prevents development of traffic accident by call during motor vehicle running.
 DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the block diagram showing structure of mobile communication system. (1) Mobile station; (2) Base station.
 - (Dwg.1/4)

OPD- 1997-10-22
 AN - 1999-344257 [29]

© PAJ / JPO

PN - JP11127469 A 19990511
 PD - 1999-05-11
 AP - JP19970289325 19971022
 IN - FUJITA TOSHIKI
 PA - NEC CORP
 TI - MOBILE COMMUNICATION SYSTEM AND COMMUNICATION METHOD FOR THE SAME AND
 STORAGE MEDIUM FOR RECORDING CONTROL PROGRAM FOR THE SAME
 AB - PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a mobile communication system for preliminarily preventing the generation of a traffic accident or the like due to speech during automobile driving, and for controlling troublesome speech in a train or a bus or the like.

This Page Blank (uspto)

- SOLUTION: A moving speed detection controlling part 12 of a mobile equipment 1 detects the switching of a control channel or a speech channel or an identification number transmitted from a base station 2. A counter 13 counts the number of times of the switching. A moving speed detection controlling part 12 transmits a moving speed information signal to the base station 2 according to the compared result of the number of times of the count of the counter 13 with a threshold value. A call-out and call-in regulation controlling part 24 of the base station 2 judges whether the moving speed information signal is high speed movement or low speed movement. A speech controlling part 25 transmits a call-out and call-in regulation signal or a speech disconnection signal to the objective mobile equipment 1 when it is judged that the moving speed information signal is the high speed movement by the call-out and call-in regulation controlling part 24, and transmits a calling and incoming regulation release signal to the objective mobile equipment 1 when it is judged that it is the low speed movement.

I - H04Q7/22 ;H04M1/02 ;H04Q7/28

This Page Blank (uspto)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-127469

(43)公開日 平成11年(1999) 5月11日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F i

H 0 4 Q 7/22

H 0 4 B 7/26

1 0 7

H 0 4 M 1/02

H 0 4 M 1/02

C

H 0 4 Q 7/28

H 0 4 Q 7/04

K

審査請求 有 請求項の数12 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平9-289325

(22)出願日 平成9年(1997)10月22日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 藤田 敏樹

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

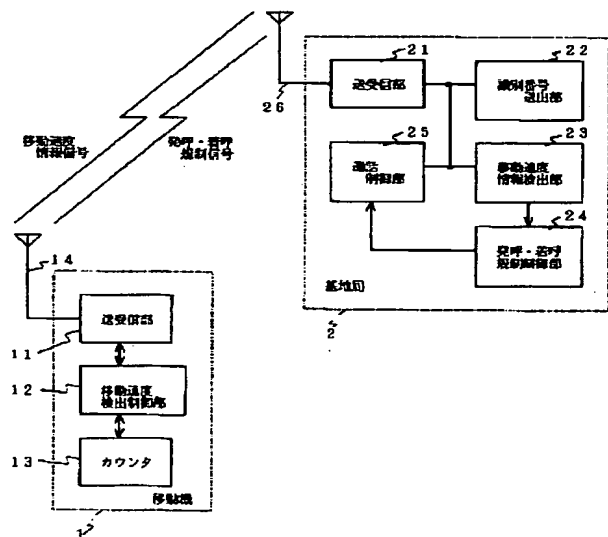
(74)代理人 弁理士 ▲柳▼川 信

(54)【発明の名称】 移動体通信システム及びその通信方法並びにその制御プログラムを記録した記録媒体

(57)【要約】

【課題】 自動車運転中の通話による交通事故等の発生を未然に防止し、電車やバス等における迷惑通話を規制可能な移動体通信システムを提供する。

【解決手段】 移動機1の移動速度検出制御部12は基地局2から送信される制御チャンネルまたは通話チャンネルもしくは識別番号の切換えを検出する。カウンタ13はその切換え回数を計数する。移動速度検出制御部12はカウンタ13のカウント回数としきい値との比較結果に応じて移動速度情報信号を基地局2に送信する。基地局2の発呼・着呼規制制御部24はその移動速度情報信号が高速移動か低速移動かを判別する。通話制御部25は発呼・着呼規制制御部24で高速移動と判別されると、発呼・着呼規制信号または通話切断信号を対象となる移動機1に送信し、低速移動と判別されると、発呼・着呼規制解除信号を対象となる移動機1に送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 移動機と、前記移動機への着呼及び前記移動機からの発呼を発呼元及び着呼先に中継する基地局とからなる移動体通信システムであって、前記基地局の切換えを検出する検出手段と、予め設定された所定時間内における前記検出手段の検出回数を計数する計数手段と、前記計数手段の計数結果が予め設定されたしきい値を越えたか否かを検知する検知手段と、前記検知手段で前記計数手段の計数結果が前記しきい値を越えたことが検知された時に高速移動通知を前記基地局に出力する高速移動通知手段とを前記移動機に有し、前記高速移動通知手段からの高速移動通知にตอบสนองして当該移動機の着呼と発呼と通話とを規制する規制手段を前記基地局に有することを特徴とする移動体通信システム。

【請求項2】 前記高速移動通知手段が前記高速移動通知を前記基地局に出力した後に前記計数手段の計数結果が前記しきい値未満となったか否かを判定する判定手段と、前記判定手段が前記しきい値未満と判定した時に低速移動通知を前記基地局に出力する低速移動通知手段とを前記移動機に含み、前記低速移動通知手段からの低速移動通知にตอบสนองして当該移動機の着呼と発呼と通話とに対する規制を解除する解除手段を前記基地局に含むことを特徴とする請求項1記載の移動体通信システム。

【請求項3】 前記移動機が通話中に前記高速移動通知手段から送られてくる高速移動通知にตอบสนองして当該移動機の通話を切断する手段を前記基地局に含むことを特徴とする請求項1または請求項2記載の移動体通信システム。

【請求項4】 前記検出手段は、少なくとも前記基地局との間の制御チャネル及び通話チャネルと前記基地局からの識別信号とのうちのいずれかによって前記基地局の切換えを検出するよう構成したことを特徴とする請求項1から請求項3のいずれか記載の移動体通信システム。

【請求項5】 移動機と、前記移動機への着呼及び前記移動機からの発呼を発呼元及び着呼先に中継する基地局とからなる移動体通信システムの通信方法であって、前記移動機において前記基地局の切換えを検出するステップと、前記移動機において予め設定された所定時間内における前記基地局の切換えの検出回数を計数するステップと、前記移動機においてその計数結果が予め設定されたしきい値を越えたか否かを検知するステップと、前記移動機において前記計数結果が前記しきい値を越えたことが検知された時に高速移動通知を前記基地局に出力するステップと、前記基地局において前記高速移動通知にตอบสนองして当該移動機の着呼と発呼と通話とを規制するステップとを有することを特徴とする移動体通信システムの通信方法。

【請求項6】 前記移動機において前記高速移動通知を

前記基地局に出力した後に前記計数結果が前記しきい値未満となったか否かを判定するステップと、前記移動機において前記しきい値未満と判定した時に低速移動通知を前記基地局に出力するステップと、前記基地局において前記低速移動通知にตอบสนองして当該移動機の着呼と発呼と通話とに対する規制を解除するステップとを含むことを特徴とする請求項5記載の移動体通信システムの通信方法。

【請求項7】 前記基地局において前記移動機が通話中に送られてくる前記高速移動通知にตอบสนองして当該移動機の通話を切断するステップを含むことを特徴とする請求項5または請求項6記載の移動体通信システムの通信方法。

【請求項8】 前記基地局の切換えを検出するステップは、少なくとも前記基地局との間の制御チャネル及び通話チャネルと前記基地局からの識別信号とのうちのいずれかによって前記基地局の切換えを検出するようにしたことを特徴とする請求項5から請求項7のいずれか記載の移動体通信システムの通信方法。

【請求項9】 移動機と、前記移動機への着呼及び前記移動機からの発呼を発呼元及び着呼先に中継する基地局とからなる移動体通信システムの通信制御プログラムを記録した記録媒体であって、

前記通信制御プログラムは前記移動機に、前記基地局の切換えを検出させ、予め設定された所定時間内における前記基地局の切換えの検出回数を計数させ、その計数結果が予め設定されたしきい値を越えたか否かを検知させ、前記計数結果が前記しきい値を越えたことが検知された時に高速移動通知を前記基地局に出力させるとともに、

前記通信制御プログラムは前記基地局に、前記高速移動通知にตอบสนองして当該移動機の着呼と発呼と通話とを規制させることを特徴とする移動体通信システムの通信制御プログラムを記録した記録媒体。

【請求項10】 前記通信制御プログラムは前記移動機に、前記高速移動通知を前記基地局に出力した後に前記計数結果が前記しきい値未満となったか否かを判定させ、前記しきい値未満と判定した時に低速移動通知を前記基地局に出力させるとともに、

前記通信制御プログラムは前記基地局に、前記低速移動通知にตอบสนองして当該移動機の着呼と発呼と通話とに対する規制を解除させることを特徴とする請求項9記載の移動体通信システムの通信制御プログラムを記録した記録媒体。

【請求項11】 前記通信制御プログラムは前記基地局に、前記移動機が通話中に送られてくる前記高速移動通知にตอบสนองして当該移動機の通話を切断させることを特徴とする請求項9または請求項10記載の移動体通信システムの通信制御プログラムを記録した記録媒体。

【請求項12】 前記通信制御プログラムは前記移動機

に、前記基地局の切換えを検出させる際に、少なくとも前記基地局との間の制御チャネル及び通話チャネルと前記基地局からの識別信号とのうちのいずれかによって前記基地局の切換えを検出させるようにしたことを特徴とする請求項9から請求項11のいずれか記載の移動体通信システムの通信制御プログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は移動体通信システム及びその通信方法並びにその制御プログラムを記録した記録媒体に関し、特に移動体通信システムにおいて移動体の速度に応じた通話規制を行う方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の通話規制方法としては、移動体に取付けられた速度センサや速度計によって移動体の速度を認識し、移動体が高速に移動している時に発呼や着呼を規制する電話機や、移動体が高速に移動している時に自動応答・ハンズフリー装置を自動的に動作させる電話機がある。

【0003】すなわち、通話規制方法としては、移動体の速度計と連動して動作し、移動体の速度に応じて発呼や着呼を規制する手段を設け、その手段における速度設定を2段階とし、低速の場合にモードスイッチが押されていれば発呼や着呼を規制し、高速の場合にモードスイッチに関係なく発呼や着呼を規制する方法がある。この方法については特公昭59-15573号公報に開示されている。

【0004】また、他の通話規制方法としては、自動車が高速度道路走行中に自動車電話機に着信があっても一定時間内にハッドセットが取り上げられない場合に自動応答装置が動作して予め録音してあるメッセージを再生して相手方に送出し、さらに相手方からのメッセージを録音しておく方法がある。この方法については、特開平2-65536号公報に開示されている。

【0005】さらに、別の通話規制方法としては、自動車電話端末に選択的に接続される送受話器とハンズフリー装置とを切換える切換器を、自動車の車速を検出する車速検出部と、この検出された自動車の車速に基づいて動作する制御部によって切換えられるように構成し、自動車の所定以上の車速の時に切換器をハンズフリー装置に切換えられるように構成する方法がある。この方法については、特開平4-246925号公報に開示されている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の通話規制方法では、移動体に車速センサや適用される電話機に対する専用の車速計を使用者が準備して取付けなければならないので、特定の移動体にしか対応することができない。

【0007】また、不特定多数の人間が乗車する電車や

バス等には車速センサや車速計が搭載されているが、それらの車速センサや車速計の車速情報を電話機に入力する方法がないので、上記の方法を携帯型の電話機に適用することができない。

【0008】そこで、本発明の目的は上記の問題点を解消し、自動車運転中の通話による交通事故等の発生を未然に防止することができ、電車やバス等における迷惑通話を規制することができる移動体通信システム及びその通信方法並びにその制御プログラムを記録した記録媒体を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明による移動体通信システムは、移動機と、前記移動機への着呼及び前記移動機からの発呼を発呼元及び着呼先に中継する基地局とからなる移動体通信システムであって、前記基地局の切換えを検出する検出手段と、予め設定された所定時間内における前記検出手段の検出回数を計数する計数手段と、前記計数手段の計数結果が予め設定されたしきい値を越えたか否かを検知する検知手段と、前記検知手段で前記計数手段の計数結果が前記しきい値を越えたことが検知された時に高速移動通知を前記基地局に出力する高速移動通知手段とを前記移動機に備え、前記高速移動通知手段からの高速移動通知に応答して当該移動機の着呼と発呼と通話とを規制する規制手段を前記基地局に備えている。

【0010】本発明による移動体通信システムの通信方法は、移動機と、前記移動機への着呼及び前記移動機からの発呼を発呼元及び着呼先に中継する基地局とからなる移動体通信システムの通信方法であって、前記移動機において前記基地局の切換えを検出するステップと、前記移動機において予め設定された所定時間内における前記基地局の切換えの検出回数を計数するステップと、前記移動機においてその計数結果が予め設定されたしきい値を越えたか否かを検知するステップと、前記移動機において前記計数結果が前記しきい値を越えたことが検知された時に高速移動通知を前記基地局に出力するステップと、前記基地局において前記高速移動通知に応答して当該移動機の着呼と発呼と通話とを規制するステップとを備えている。

【0011】本発明による移動体通信システムの通信制御プログラムを記録した記録媒体は、移動機と、前記移動機への着呼及び前記移動機からの発呼を発呼元及び着呼先に中継する基地局とからなる移動体通信システムの通信制御プログラムを記録した記録媒体であって、前記通信制御プログラムは前記移動機に、前記基地局の切換えを検出させ、予め設定された所定時間内における前記基地局の切換えの検出回数を計数させ、その計数結果が予め設定されたしきい値を越えたか否かを検知させ、前記計数結果が前記しきい値を越えたことが検知された時に高速移動通知を前記基地局に出力させるとともに、前

記通信制御プログラムは前記基地局に、前記高速移動通知に応答して当該移動機の着呼と発呼と通話とを規制させている。

【0012】すなわち、本発明の移動体通信システムは、移動機（電話機）において、基地局から送信される制御チャネルまたは通話チャネルもしくは基地局識別番号信号〔基地局ID（Identifier）〕等の切換え（変動）回数をカウンタで計数し、単位長において任意に定める回数を越えた時にその情報を移動機から基地局に送信する。

【0013】基地局はその情報に応じて発呼・着呼規制信号を、移動機が通話中の場合には切断信号を対象となる移動機に対して送信し、移動機における発呼・着呼・通話を強制的に規制する。

【0014】また、移動機の移動速度が低下してきた場合に、移動機における発呼・着呼・通話の強制的な規制を解除する規制解除信号を基地局から対象となる移動機に対して送信し、その移動機を通常の待受け状態とする。

【0015】上記の如く、移動機において移動速度が高速なのか低速なのかを判別させ、その判別結果に応じて発呼・着呼・通話を強制的に規制することで、電車やバス等の車速センサや車速計の車速情報を電話機に入力する方法がない場合でも対応可能となり、移動機の使用者が適用する車速センサや車速計を準備する必要がなくなる。

【0016】また、上記の方法によって移動速度を判別し、その判別結果に応じて基地局から強制的に発呼・着呼・通話に対して規制をかけるので、高速移動中における自動車での片手運転による交通事故の発生を未然に防止することが可能となり、電車バス等の公衆移動機関内での迷惑通話を規制することが可能となる。

【0017】

【発明の実施の形態】次に、本発明の一実施例について図面を参照して説明する。図1は本発明の一実施例による移動体通信システムの構成を示すブロック図である。図において、本発明の一実施例による移動体通信システムは移動機1と基地局2とから構成されている。

【0018】移動機1は送受信部11と、移動速度検出制御部12と、カウンタ13と、アンテナ14とから構成されており、移動速度検出制御部12は図示せぬ制御メモリに格納されたプログラムを実行する。尚、制御メモリには以下の処理動作を実行させるための制御プログラムが格納されており、フロッピディスクやROM（リードオンリメモリ）等で構成されている。

【0019】基地局2は送受信部21と、識別番号〔基地局識別番号信号＝基地局ID（Identifier）〕送出部22と、移動速度情報検出部23と、発呼・着呼規制制御部24と、通話制御部25と、アンテナ26とから構成されている。

【0020】発呼・着呼規制制御部24及び通話制御部25は図示せぬ制御メモリに格納されたプログラムを実行する。尚、制御メモリには以下の処理動作を実行させるための制御プログラムが格納されており、フロッピディスクやROM（リードオンリメモリ）等で構成されている。

【0021】移動機1は基地局2から送信される制御チャネルまたは通話チャネルもしくは識別番号の切換え（変動）を検出する移動速度検出制御部12と、その切換え回数を計数するカウンタ13とを内蔵している。

【0022】移動機1の移動速度検出制御部12はカウンタ13のカウント回数を予め設定されたしきい値と比較し、その比較結果に応じて移動速度情報信号を生成して基地局2に送信する。

【0023】基地局2は移動機1からの移動速度情報信号を移動速度情報検出部23が検出すると、発呼・着呼規制制御部24でその移動速度情報信号が高速移動を示しているか、あるいは低速移動を示しているかを判別する。通話制御部25は発呼・着呼規制制御部24で高速移動と判別されると、発呼・着呼規制信号または通話切断信号を対象となる移動機1に送信し、発呼・着呼規制制御部24で低速移動と判別されると、発呼・着呼規制解除信号を対象となる移動機1に送信する。

【0024】図2は図1の移動速度検出制御部12の処理動作を示すフローチャートであり、図3は図1のカウント13の計数動作を示すフローチャートであり、図4は図1の発呼・着呼規制制御部24及び通話制御部25の処理動作を示すフローチャートである。これら図1～図4を用いて本発明の一実施例による発呼・着呼規制動作について説明する。ここで、基地局2では制御チャネルまたは通話チャネルの送信時以外に識別情報を常時送信するタイプや基地局識別番号信号を所定間隔で送信するタイプ等があるが、以下の説明では基地局識別番号信号を所定間隔で送信するタイプについて説明する。

【0025】通常、移動機1に対しては基地局2を経由して発呼元との通話及び着呼先との通話を行うための移動体通信サービスが提供されている。つまり、移動機1の送受信部11及びアンテナ14と基地局2の送受信部21及びアンテナ26との間で送受信が行われることで、移動体通信サービスが実施されている。この場合、基地局2は識別番号送出部22から基地局識別番号信号を所定間隔で送出しているものとする（図4ステップS22）。

【0026】移動機1は電源が投入されると、移動速度検出制御部12はカウンタ13からのカウント回数が任意に設定されたしきい値を越えたか否かを判定する（図2ステップS2）。

【0027】ここで、カウンタ13は移動速度検出制御部12が基地局2から送信される制御チャネルまたは通話チャネルもしくは識別番号の切換え（変動）を検出す

ると(図3ステップS12)、計数値に1を加算する(図3ステップS13)。

【0028】カウンタ13はその加算後に、計数を開始してから所定時間が経過していなければ(図3ステップS14)、ステップS12に戻って移動速度検出制御部12からの基地局2の切換え通知を待つ。

【0029】カウンタ13はその加算後に、計数を開始してから所定時間が経過すると(図3ステップS14)、それまで計数した計数値を移動速度検出制御部12に送出し(図3ステップS15)、計数値を初期化する(図3ステップS16)。この後に、カウンタ13はステップS12に戻って移動速度検出制御部12からの基地局2の切換え通知を待つ。尚、上記の処理は移動速度検出制御部12がカウンタ3を制御することでも実現可能である。

【0030】移動速度検出制御部12はカウンタ13からのカウント回数がしきい値を越えると、移動速度情報信号で基地局2に高速移動を通知する(図2ステップS3)。この時、基地局2では移動速度情報検出部23が移動速度情報信号を検出すると、発呼・着呼規制制御部24でその移動速度情報信号が高速移動を示しているか、あるいは低速移動を示しているかを判別する。

【0031】通話制御部25は発呼・着呼規制制御部24で高速移動と判別されると(図4ステップS23)、発呼・着呼規制信号または通話切断信号を対象となる移動機1に送信する(図4ステップS24)。これによって、移動機1では発呼・着呼が規制されるか(図2ステップS4、S6)、あるいは通話中であれば通話が切断された後に発呼・着呼が規制される(図2ステップS4～S6)。

【0032】発呼・着呼が規制された後に、移動速度検出制御部12はカウンタ13からのカウント回数がしきい値未満となったか否かを判定する(図2ステップS7)。移動速度検出制御部12はカウンタ13からのカウント回数がしきい値未満になると、移動速度情報信号で基地局2に低速移動を通知する(図2ステップS8)。

【0033】この時、基地局2では移動速度情報検出部23が移動速度情報信号を検出すると、発呼・着呼規制制御部24でその移動速度情報信号が高速移動を示しているか、あるいは低速移動を示しているかを判別する。

【0034】通話制御部25は発呼・着呼規制制御部24で低速移動と判別されると(図4ステップS25)、即時に発呼・着呼規制解除信号を対象となる移動機1に送信する(図4ステップS26)。これによって、移動機1では発呼・着呼の規制が解除され、通常の待ち受け状態となって自動的に通常のサービスを再開し(図2ステップS9、S10)、ステップS2に戻ってカウント回数を監視する。尚、基地局2は保守等で処理が終了する(図4ステップS21)場合以外は常に上記の処理を

繰返し実行する。

【0035】このように、基地局2から送信される制御チャネルまたは通話チャネルもしくは基地局識別番号信号等の切換え(変動)が移動機1の移動速度検出制御部12で検出された回数をカウンタ3で計数し、単位長においてしきい値を越えた時に高速移動を移動機1から基地局2に送信し、基地局2がその情報に応じて発呼・着呼規制信号を、移動機1が通話中の場合には切断信号を対象となる移動機1に対して送信し、移動機1における発呼・着呼・通話を強制的に規制することによって、移動機の利用者が適用する車速センサや車速計を準備することなく、高速移動中における自動車での片手運転による交通事故の発生を未然に防止することができ、電車バス等の公衆移動機関内での迷惑通話を規制することができる。

【0036】また、移動機1の移動速度が低下してきた場合に、移動機1における発呼・着呼・通話の強制的な規制を解除する規制解除信号を基地局2から対象となる移動機1に対して送信し、その移動機1を通常の待受け状態とする。

【0037】上記の如く、移動機1において移動速度が高速なのか低速なのかを判別させ、その判別結果に応じて発呼・着呼・通話を強制的に規制することで、電車やバス等の車速センサや車速計の車速情報を電話機に入力する方法がない場合でも対応することが可能となり、移動機1の利用者が適用する車速センサや車速計を準備する必要がなくなる。

【0038】また、上記の方法によって移動速度を判別し、その判別結果に応じて基地局2から強制的に発呼・着呼・通話に対して規制をかけるので、高速移動中における自動車での片手運転による交通事故の発生を未然に防止することが可能となり、電車バス等の公衆移動機関内での迷惑通話を規制することが可能となる。

【0039】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、移動機と、移動機への着呼及び移動機からの発呼を発呼元及び着呼先に中継する基地局とからなる移動体通信システムにおいて、基地局の切換えを検出した回数を予め設定された所定時間内で計数し、その計数結果が予め設定されたしきい値を越えた時に高速移動通知を移動機から基地局に出力し、その高速移動通知にตอบสนองして当該移動機の着呼と発呼と通話とを規制するための規制信号を基地局から移動機に送信することによって、自動車運転中の通話による交通事故等の発生を未然に防止することができ、電車やバス等における迷惑通話を規制することができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例による移動体通信システムの構成を示すブロック図である。

【図2】図1の移動速度検出制御部の処理動作を示すフ

ローチャートである。

【図3】図1のカウンタの計数動作を示すフローチャートである。

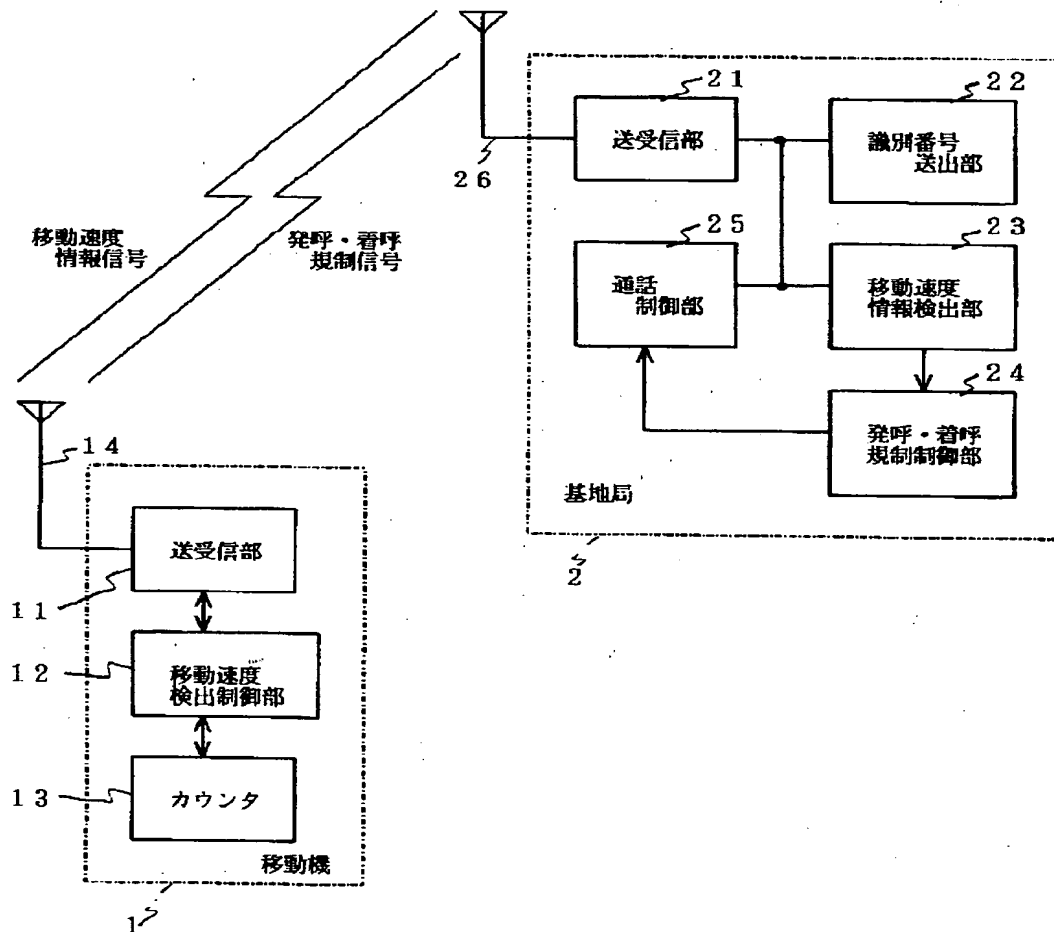
【図4】図1の発呼・着呼規制制御部及び通話制御部の処理動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

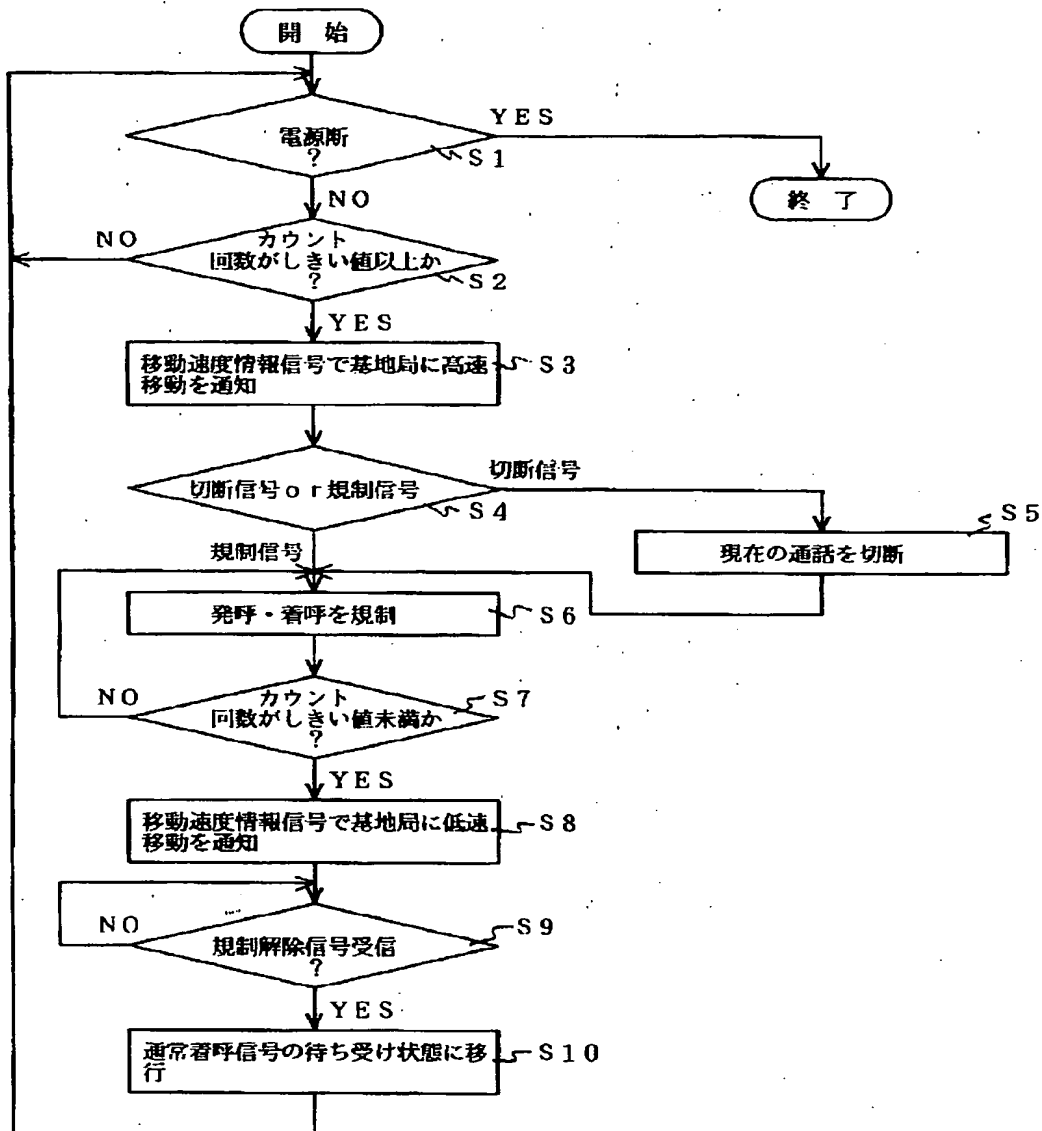
- 1 移動機
- 2 基地局

- 11, 21 送受信部
- 12 移動速度検出制御部
- 13 カウンタ
- 14, 26 アンテナ
- 22 識別番号送出部
- 23 移動速度情報検出部
- 24 発呼・着呼規制制御部
- 25 通話制御部

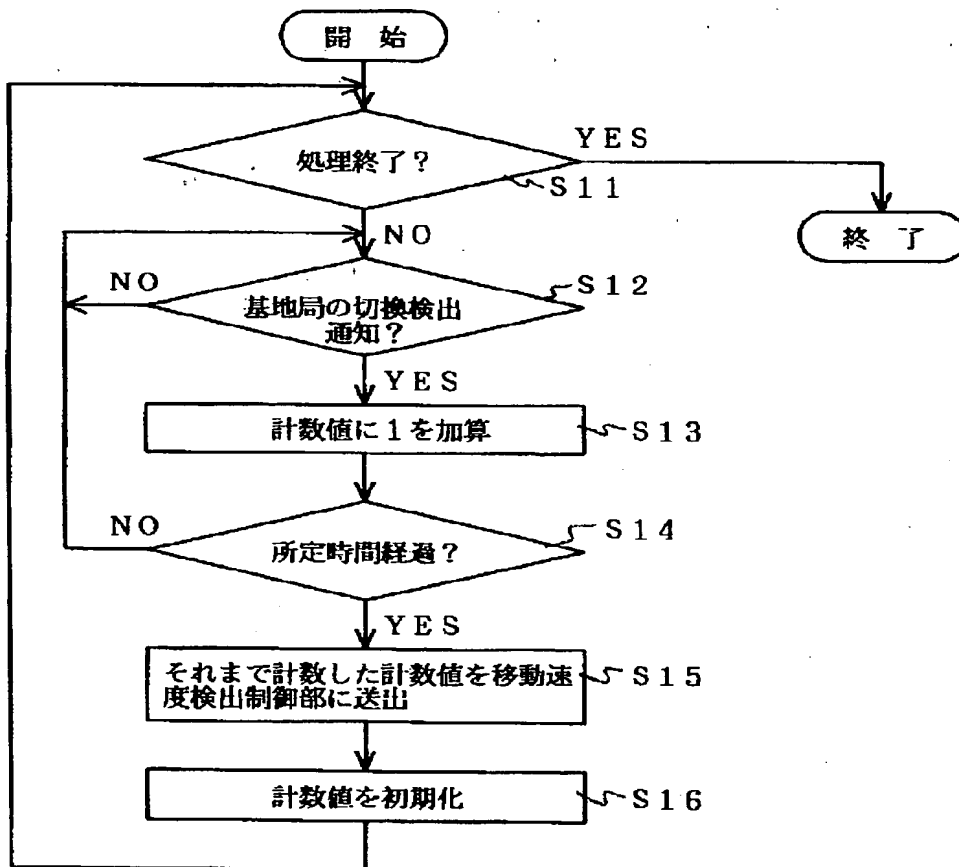
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

